

短期講座

91. ローマ帝国と世界史講座

講義の目的	一都市国家にすぎなかったローマは、最盛期にはヨーロッパだけではなく地中海沿岸全域を支配した。その後の歴史に大きな影響を及ぼし、我々の社会や文化にも様々な側面で繋がっている。ローマ帝国の歴史を追うことで、その世界史的意義を学びます
-------	--

開催日:火曜日 時間:14:00~16:00 会場:大阪市教育会館

回	月	日	テーマ	概要
1	5	9	初期ローマの歴史—建国からイタリア支配まで	ティベル川のほとりに成立した都市国家ローマが、前3世紀前半にイタリア半島全体を支配下に置いていくまでの歴史を概観する。
2	5	30	ポエニ戦争—ローマの西地中海支配	イタリア統一後のローマが前3世紀後半に北アフリカのカルタゴと戦い(第1次, 第2次ポエニ戦争), シチリアやスペインに支配を広げていく過程を考察する。
3	6	20	ヘレニズム世界とローマ共和制	前2世紀にローマが東地中海情勢に介入し, ヘレニズム諸王国と戦ってエーゲ海周辺を属州とする一方, ギリシア文化の影響を受けていく様子を解説する。
4	7	11	ローマ共和制の変容と「内乱の1世紀」	前1世紀, 元老院議員同士の権力闘争が激しく, 内乱状態となった共和政ローマで, カエサルが権力を獲得していく過程や彼の死後の混乱などを説明する。
5	7	25	アウグストゥスによる帝政の開始	カエサルの養子オクタウィアヌス(アウグストゥス)が, 前1世紀後半から後1世紀初頭にかけてつくりあげたローマの「帝政」とはどのようなものであり, ローマ「皇帝」とはいかなる存在であったのかその特徴を解説する。
6	9	26	「大理石の都」の誕生	アウグストゥス帝はローマの街にさまざまに手を加え, 「大理石の都」と自慢するほどの当時の最先端都市へと変貌させた。現在の観光都市ローマの基礎ができあがったこの時代の都市ローマについて説明する。
7	10	31	フラウィウス朝から五賢帝朝へ—「最盛期」のローマ帝国	「暴君」ネロ死後の69年は「四皇帝の年」と呼ばれる内乱の年となった。この事態を収めたウェスパシアヌスの王朝フラウィウス朝以降, 2世紀末までローマ帝国は最繁栄期を迎える。この頃, 帝国を支配した皇帝とはどのような人々であったのか解説する。
8	11	21	帝国各地の文化と社会	アウグストゥス帝から2世紀の五賢帝期まではしばしば「ローマの平和」の時代と呼ばれる。ローマ帝国領はヨーロッパだけでなく, 北アフリカや西アジアにまで広がっていた。この頃, 帝国各地ではどのような社会や文化が築かれていたのか解説する。
9	12	5	混乱と再生—「3世紀の危機」と後期帝政	3世紀前半のローマ帝国では政治的軍事的混乱が深まり, 帝国中央では短命の皇帝が続く一方, 地方では反乱が相次ぐという時代を迎える。「3世紀の危機」とも呼ばれるこの事態について述べた上で, ディオクレティアヌス, コンスタンティヌスという二人の皇帝がいかにしてこの事態を終わらせ, 新たなローマ帝国を築き上げていったのかを説明する。
10	12	26	後期ローマ帝国とキリスト教	後期ローマ帝国では, 4世紀初めにコンスタンティヌス帝により公認されたキリスト教が勢力を強め, 同世紀末には国教とされる。同じ頃, フン人により圧迫されたゲルマン人諸部族が帝国内に移動し, 各地で王国を樹立。こうした状況の中, 西ローマ帝国は5世紀後半に滅亡, 一方で東ローマ帝国は15世紀まで連綿と続いていく。古代末期から中世にかけての歴史的变化を概観する。

